

希望型指名競争入札制度のてびき (千葉県建設局)

平成22年4月

千 葉 市

希望型指名競争入札制度のてびき

千葉市建設局では、入札制度のより一層の透明性、競争性及び公平性を確保する観点から、一定の資格要件を定め、事前に希望者を募り執行する「希望型指名競争入札制度」を実施しています。

本入札制度に参加を希望する場合は、以下の事項について十分留意して参加してください。

1. 対象業務委託

原則として、入札で執行する案件

(WTO政府調達協定対象案件については除きます。)

2. 入札参加資格

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者で、次のいずれにも該当しないもの。

ア 手形交換所による取引停止処分を受けてから2年間を経過しない者

イ 開札日前6か月以内に不渡手形又は不渡小切手を出した者

ウ 会社更生法（平成14年法律第154号）の更生手続開始の申立てをした場合で同法に基づく裁判所による更生手続開始決定がなされていないもの

エ 民事再生法（平成11年法律第225号）の再生手続開始の申立てをした場合で同法に基づく裁判所による再生計画認可決定がなされていないもの

オ 千葉市入札参加資格者名簿に登載されていない者

カ 千葉市物品等入札参加資格者指名停止措置要領（昭和60年8月1日施行）及び千葉市建設工事請負業者等指名停止措置要領（昭和60年8月1日施行）に基づく指名停止措置等を対象業務の入札参加資格確認申請期限の日から入札日までの間に受けている者

キ 千葉市内において、都市計画法（昭和43年法律第100号）に違反している者

ク 対象業務委託の発注年度の前年度までの千葉市税を滞納している者

ケ 前各号のほか必要と認めて定める者

(2) これらに加え、対象業務委託の種類又は性質により、以下の資格要件を設けますので、入札参加申請を行うにはこれらの資格要件を満たすことが必要となります。

- ア 対象業務委託と同種業務委託の履行実績
- イ 技術者の配置
- ウ 地区区分
- エ その他

<地区区分の種類>

市内業者	千葉市内に本店を有する者
準市内業者	千葉市内に支店・営業所等を有する者
市外業者	千葉市内に事業所を有しない者

3. 公表

- (1) 委託発注表（千葉市建設局業務委託希望型指名競争入札実施要綱様式第1号）を、建設局希望型指名競争入札のホームページに掲載するとともに、建設総務課に掲示し公表します。
- (2) 入札日前に公表する内容は以下のとおりです。
 - ア 業種
 - イ 委託名
 - ウ 委託場所
 - エ 委託概要
 - オ 期間
 - カ 予定価格（建設工事に係る設計業務委託に限る）
 - キ 資格要件
 - ク 申込期間
 - ケ その他

4. 入札参加申請

- (1) 入札参加を希望する際の提出書類は以下のとおりです。
 - ア 希望型指名競争入札参加申請書（様式第2号）
 - イ 同種業務委託の履行実績を確認できる書類（契約書の写し・認定書の写しなど）（資格要件に、履行実績を定めている場合に必要です。）
- (2) 申込期間は、対象業務委託の公表を開始した日から公表の最終日まで（原則として5日間）です。詳細は、委託発注表に記載します。
- (3) 希望者が多数であった場合の取扱い

希望型指名競争入札として公表した結果、希望者が多数あった場合でも、資格要件等を満たしていれば、原則として全ての希望者を指名します。

5. その他

- (1) 資本若しくは人事面等において関連会社となる業者については、一緒に同一案件に申請はできません。
- (2) 申請にあたり、現在の手持業務及び指名状況等を勘案し、技術者数について十分考慮のうえ申請書を提出してください。
- (3) 提出された申請書は、指名業者を選定するにあたっての参考資料とするものであり、直ちに指名につながるものではありません。提出にあたっては、再度記載内容の確認をお願いします(書類に不備があると指名されないことがあります)。

様式第2号

登録番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

希望型指名競争入札参加申請書

平成 年 月 日

(あて先) 千葉市長

申込者 所在地
商号又は名称
代表者氏名 印
(担当者名)
(電話番号)

競争入札に参加を希望します。この申請書については、事実と相違ないことを誓約します。

希望業務委託名			
当該業種の技術職員数	人		
千葉市発注の 当該業種の 手持業務委託件数	件	他の官公庁発注の 当該業種の 手持業務委託件数	件

同種業務委託の履行実績 (官公庁実績を優先)	
委託名	
履行場所	
発注者名	
契約金額	円 (円)
期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
受注形態等	単体 / 共同企業体 (出資割合) %
委託概要	

※業務委託の裏面になります。

業務委託希望型指名競争入札申請に必要です。

- 注1 申請にあたり、現在の手持業務及び指名状況等を勘案し、技術者数について十分考慮のうえ提出すること。
- 2 押印は実印・使用印等の届出印とする。
- 3 受付時間を厳守すること。
- 4 登録番号については、本市に入札参加資格審査申請書を提出し、資格決定を受けた登録番号を記入すること。
- 5 「同種業務委託の履行実績」欄は、過去10年以内に当該業務が完成し、引渡しの済んだ履行実績を記入すること。また、資格要件に同種業務委託の履行実績等を設けている場合には、資格要件に該当する同種業務委託を履行した実績を確認できる書類(契約書の写し、認定書の写しなど)を添付すること。
- 6 「業務概要」欄は、業務内容・規模等を記入すること。
- 7 提出された申請書は、指名業者を選定するにあたっての参考資料とするものであり、直ちに指名につながるものではありません。
- 8 提出前に、もう一度、記載内容の確認をお願いします。(書類に不備があると指名されないことがあります)。

希望型指名競争入札参加申請（業務委託）にあたっての留意点について

- ・ 役員兼務（監査役を除く。）又は資本提携（50%以上）がある企業は、同一案件の指名を受けることはできません。
- ・ 審査のうえ、資格要件等に適合しなければ指名されないこともあります。
- ・ 指名後に資格要件等に適合しなくなった場合は、入札参加資格を失います。
- ・ 希望型指名競争入札に入札参加申請をした場合は、同一の入札参加資格等審査会の対象委託となる、同一業種の希望型以外の通常指名競争入札対象委託については、指名選定の公平性等の観点から指名選定の対象にはなりません。
- ・ ただし、同一の入札参加資格等審査会の対象となる同一業種の委託件数が多く、希望型指名競争入札に入札参加申請をしなかった者だけでは指名業者数に不足が生じる場合は、同一業種全体の指名状況を考慮し、希望型指名競争入札に入札参加申請をした者についても、希望型以外の通常指名競争入札対象委託について指名選定の対象とする場合があります。